



論理数学(2日間+LMSでのメディア授業)

- 他の教科の基礎となる分野なので、スクーリングでしっかり勉強できて良かったです。
- おもしろい授業でした。できれば時間をかけて、じっくり取り組みたい内容でした。
- 授業用資料を読んだだけでは難しく感じたが、解説や演習を通して理解することができた。
- 休み時間も質問に答えていただけ、より深く理解できた。
- 黒板に書きながらの説明だったので理解しやすかったし、自分で解答を黒板に書くことも何十年かぶりで行き届いた。
- 説明や演習問題の解説が丁寧で分かりやすかった。
- 自身の実力不足を実感するきっかけになりました。
- 他の学生の質問を通してより深く理解することができた。

基礎数学(2日間+LMSでのメディア授業)

- 図解が多く、理解しやすかった。
- 今、勉強している内容がコンピュータやその周辺領域のどのようなところで利用されているのかが分かった。
- 予習・復習するために、ビデオコンテンツがあったのが非常に良かった。
- スピードになかなか追いつかず、難しく感じた。
- 教員の話が面白く、予想以上に楽しいスクーリングだった。
- 他の方の様子分かった点も、今後の励みになりました。
- 数学ができるようになったら楽しいと思った。数学に興味を持つことができました。
- なかなか参加できなかったが、今回参加できるとも良かった。
- もっと予習して参加すればよかった。

情報基礎1(2日間+LMSでのメディア授業)

- 1人1台のPCを使い自分のペースで学修できる環境が整っているのが良かった。
- 事務では使わない機能に大いに興味をそられました。数式をWordで表示するのは大変でした。
- Officeについて、普段使用している機能の再確認から使用したことのない機能まで学べて良かった。
- 通信課程のレポート作成に役立つ知識を学べて良かった。
- 数式やグラフ等を入れた上学技術文書を作成するうえで、大変有用な授業だった。
- Excel関数によるデータ処理とグラフ作成などは、更に学修が必要であると感じました。
- 成長の実感があり、大変有意義な授業でした。



授業紹介

プログラミングに繋がる思考法を学べる「論理数学」



指定された会場で対面授業(スクーリング)を行う科目の一つです。

情報系数学の基礎となる科目で、アルゴリズムやプログラムをつくるための論理的な考えを学びます。授業の単元ごとに演習問題を解きながら、集合、写像、関係、命題論理、述語論理について学修します。授業中に板書して解答を発表するなど、直接授業を受けることで、より学修効果を上げる機会にもなります。



在学生の声

セキュリティアナリストとして飛躍するために入学

情報科学科(通信教育課程) 在学中

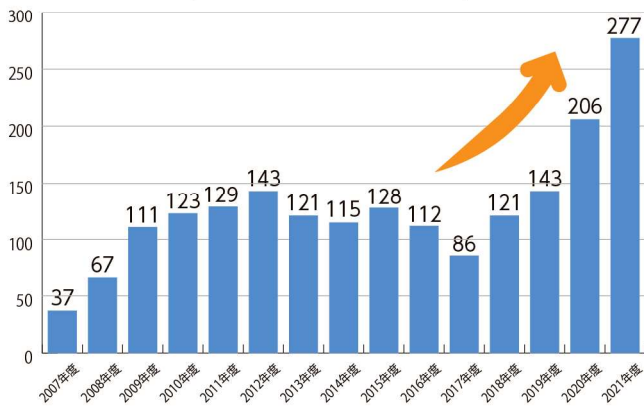
セキュリティアナリストとしてのスキルアップを図るため、コンピュータサイエンスの基礎をしっかりと学ぶことができる帝京大学通信教育課程に入学しました。全国でも珍しい学士(工学)の学位取得に向けたカリキュラムが充実し、理数系科目をストイックに学べる点にも魅力を感じました。

論理数学、線形代数、離散数学をはじめ、基礎的な数学や計算理論の知識を得たことで、セキュリティ対策を考える上で基礎になる数学や解析に関する知識を身につけることができました。理解できる資料の幅も広がり、確実に仕事の質が上がっていると感じます。

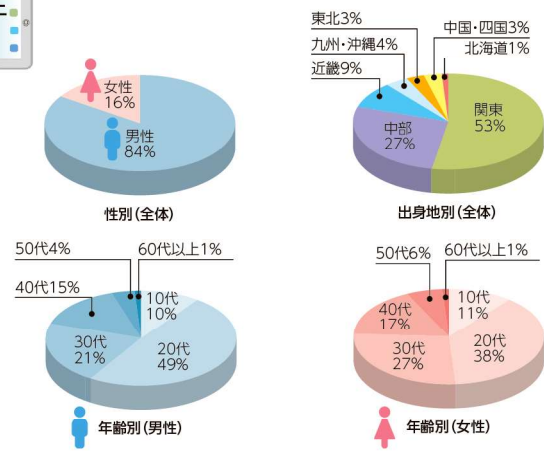
自分のペースで学修できるため、努力をすれば理数系の下地が無い人でも成果を残すことができると思っています。

将来は、日本国内だけでなく海外の大学やカンファレンスに学びの場を広げ、最新のコンピュータサイエンスを学び、技術論文を執筆して実務と研究の両面からサイバーセキュリティの発展に貢献したいと考えています。

通信教育課程入学者数推移(編入学・科目等履修生含む)



在学生情報



●ディプロマ・ポリシー

【帝京大学】

帝京大学は、建学の精神に掲げる人材の育成を目的および使命としており、これを達成するために「自分流」という教育理念および「実学・国際性・開放性」という具体的な教育指針を示し、学部学科等において教育目的を定めている。

これらの方針の下で、教養教育科目と専門科目からなる教育課程を編成する。

以下の能力を身につけ、所定の教育課程および単位を修めた者に対して学位を授与する。

1. 本学の教養教育の学修目標に掲げる能力を身につけている。
2. 幅広い教養と社会的倫理観、豊かな創造力および人間味を身につけている。
3. 専門分野についての知識・技能を有し、それをを用いて社会に貢献する意思を持っている。
4. 異文化を理解し、国際的視野により物事を判断できる素養を持っている。
5. 主体性を持って他者と協働して学び、自他を更に高め合う関係を構築できる。

【理工学部】

理工学部は、機械・精密システム工学、航空宇宙工学、情報電子工学、情報科学通信教育課程、バイオサイエンスから構成されている。各分野によって専門性や教育の重点は異なるが、その基本は建学の精神を具現化することにある。

以下のような能力を身につけ、かつ所定の単位を修めた者に対して学位を授与する。

1. 人文科学、社会科学、自然科学系科目、外国語等の総合基礎科目と、数学、物理学、化学、情報基礎等の専門基礎科目を学び、さらに専門科目を通じて幅広い知識を身につけ、種々の応用課題に柔軟に取り組むことができる。
2. 国際的視野に立って判断する素養を培い続けるために、各専門分野に関連した領域においてコミュニケーション能力を十分に発揮できる。
3. 実学を通して体得した人間味豊かな専門性と創造力を発揮し、多くの課題に対処することができる。

【通信教育課程】

情報科学科通信教育課程は、幅広い教養と情報科学の基礎的な知識と技能を身につけた、高度情報化社会に対応できる専門性のある人材を育成することを目指している。

以下のような能力を身につけ、かつ所定の単位を修めた者に対して学位を授与する。

1. 外国語を自主的継続的な学習により身につけ、人文科学、社会科学、自然科学を始めとする基礎的な教養をもとに、総合的な判断ができる。
2. 情報科学、情報工学の基礎知識から応用技術までを修得し、高度情報化社会に有効に活用できる。
3. 情報処理を支え実行するための情報システムなどを開発、構築できる。
4. 高度情報化社会における様々な問題を多面的に分析、統合し、かつ、課題を設定し、継続的な努力により解決することができる。